



令和8年8月25日

中部地方整備局

## CNP認証（コンテナターミナル）認証書交付式を開催！

### ～中部地域でトップクラスとなる認証レベル4+++を取得～

国土交通省では、「2050年カーボンニュートラル」等の政府目標の下、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化や水素・アンモニア等の受入環境の整備等を図るカーボンニュートラルポート（CNP）の形成を推進しております。

コンテナターミナルにおける脱炭素化の取組の透明化を図り、客観的に評価する「CNP認証（コンテナターミナル）」※<sup>1</sup>が創設（令和7年3月）され、これまで全国のコンテナターミナルの認証を進めてまいりました。

今般、「名古屋港飛島ふ頭南側コンテナターミナル」が認証レベル4+++の認証を取得※<sup>2</sup>※<sup>3</sup>したことを受け、9月4日に認証書交付式を開催します。交付式では、認証書の交付及び被認証者からの挨拶を予定しているほか、交付式終了後には、遠隔自動RTGやAGVを備えた日本唯一の自動化コンテナターミナルを屋上から視察します。

※<sup>1</sup>：詳細は参考資料1をご参照ください。

※<sup>2</sup>：認証結果については国土交通省港湾局HPで公表されています。

（国土交通省港湾局HP（[https://www.mlit.go.jp/report/press/port04\\_hh\\_000568.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/port04_hh_000568.html)）を参照ください）

※<sup>3</sup>：認証の詳細は参考資料2をご参照ください。

## 1. 概 要

日 時：令和8年9月4日（金）14：00～14：20

会 場：飛島コンテナ埠頭株式会社

飛島ふ頭南側コンテナターミナル 5階 レセプションルーム

（愛知県海部郡飛島村東浜3丁目1-4）

主 催：国土交通省 中部地方整備局 港湾空港部

その他：交付式後、屋上からコンテナターミナルを視察予定

## 2. 取 材

- ・ 認証書交付式及び屋上からの視察を公開いたします。
- ・ 撮影が可能です。なお、屋上からの撮影は、コンテナターミナルの遠景に限ります。
- ・ 取材いただける報道機関の方は、別紙1の「取材登録」をご参照いただき、8月31日（月）15時までに電子メールにてお申し込みください。
- ・ 当日は、認証書交付式開催15分前までに会場受付にお越しください。
- ・ 報道機関名が確認できる取材者証（腕章）等の着用をお願いいたします。

## 3. 配 布 先

中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、愛知県政記者クラブ、  
港湾新聞、海事プレス、港湾空港タイムス、日本海事新聞、  
マリタイムデーリーニュース

## 4. 問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 港湾空港部

港湾計画課 松永（まつなが）、山下（やました）

TEL：052-209-6321 E-mail：pa.cbr-keikaku@mlit.go.jp

メール送信先:pa.cbr-keikaku@mlit.go.jp  
(国土交通省 中部地方整備局 港湾空港部 港湾計画課 宛)

## 取材登録

※取材をご希望の場合は、事前に以下の記載事項を電子メールにて送付いただくようお願いいたします

### 【メール件名】

(取材登録)CNP認証(コンテナターミナル)認証書交付式

### 【記載事項】

1. 報道機関名
2. 取材者(複数名の場合は代表者)
  - ①ご氏名
  - ②ご役職
  - ③取材人数
3. 連絡先
  - ①電話番号
  - ②当日に連絡可能な携帯電話番号(3. ①と同じ場合は不要)
4. 注意事項
  - 天候や災害等により、現地視察の中止又は交付式を中止・延期する場合がございます。
  - 交付式の中止・延期が決定した場合、当日12:00までに連絡いたします。

(メール本文に直接入力し、送付いただく形で問題ございません。)

申込締切:令和8年8月31日(月) 15時

- 令和7年6月、コンテナターミナルにおける脱炭素化の取組を客観的に評価する「CNP認証(コンテナターミナル)」の運用を開始
- 本制度の普及により、港湾全体でのCNP形成に向けた機運醸成が図られ、CNPに取り組む企業等や港湾自体のブランド力が向上することを期待

## 制度の概要

※申請は無料です

## 評価する取組

### ○対象

- ・日本国内のコンテナターミナル

### ○申請者

- ・港湾管理者が運営するターミナル  
→ 港湾管理者
- ・民間事業者が運営するターミナル  
→ 借受者又はターミナルオペレーター

### ○認証者

- ・国土交通省港湾局

### ○評価方法・基準

- ・「要求事項」の達成状況を5段階で評価
- ・「推奨事項」の達成状況を「+」の数で評価

### ○認証有効期間

- ・3年

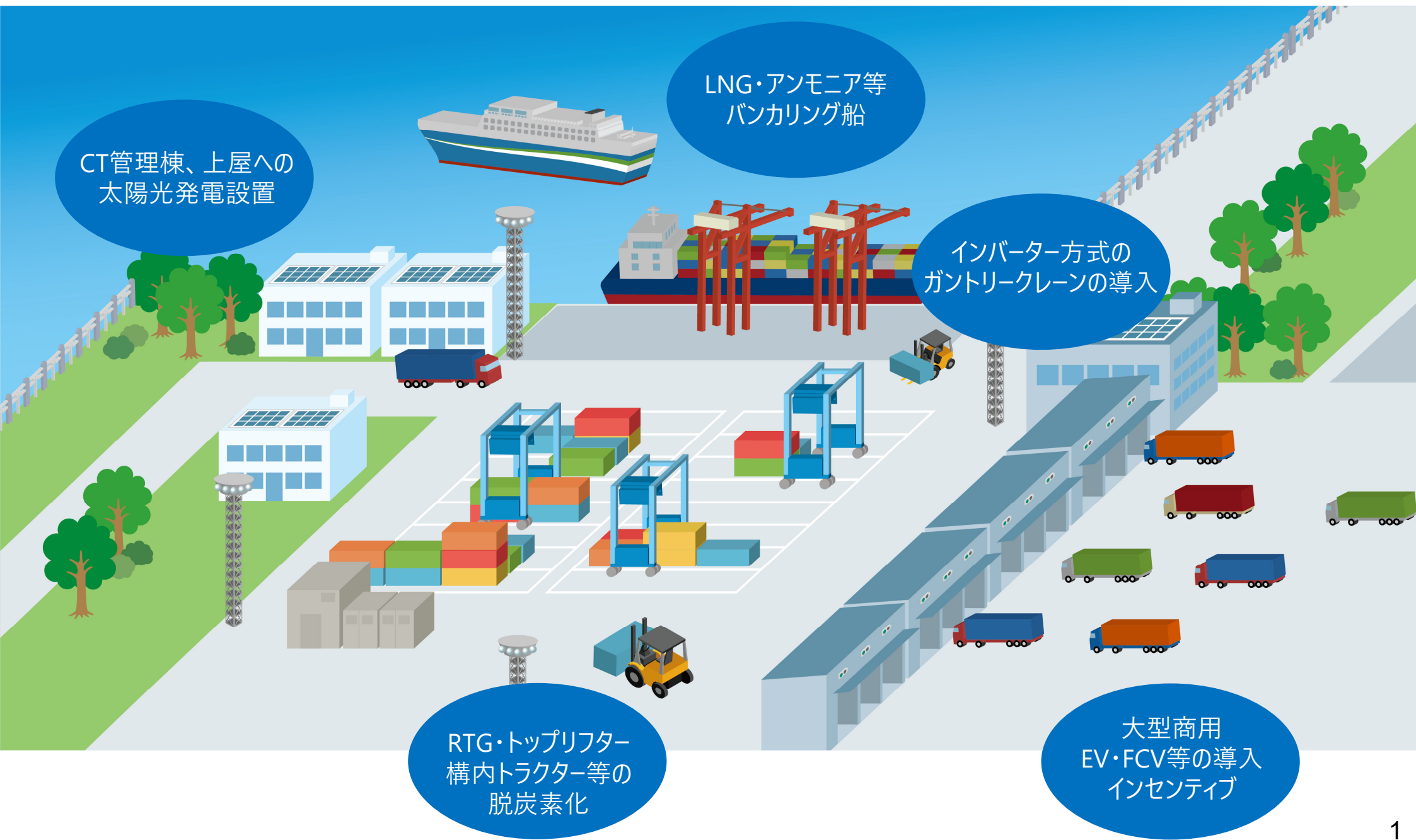
## 貨物の取扱等に関する脱炭素化の取組



## 船舶や車両の脱炭素化に資する取組



# CNP認証において評価する取り組み



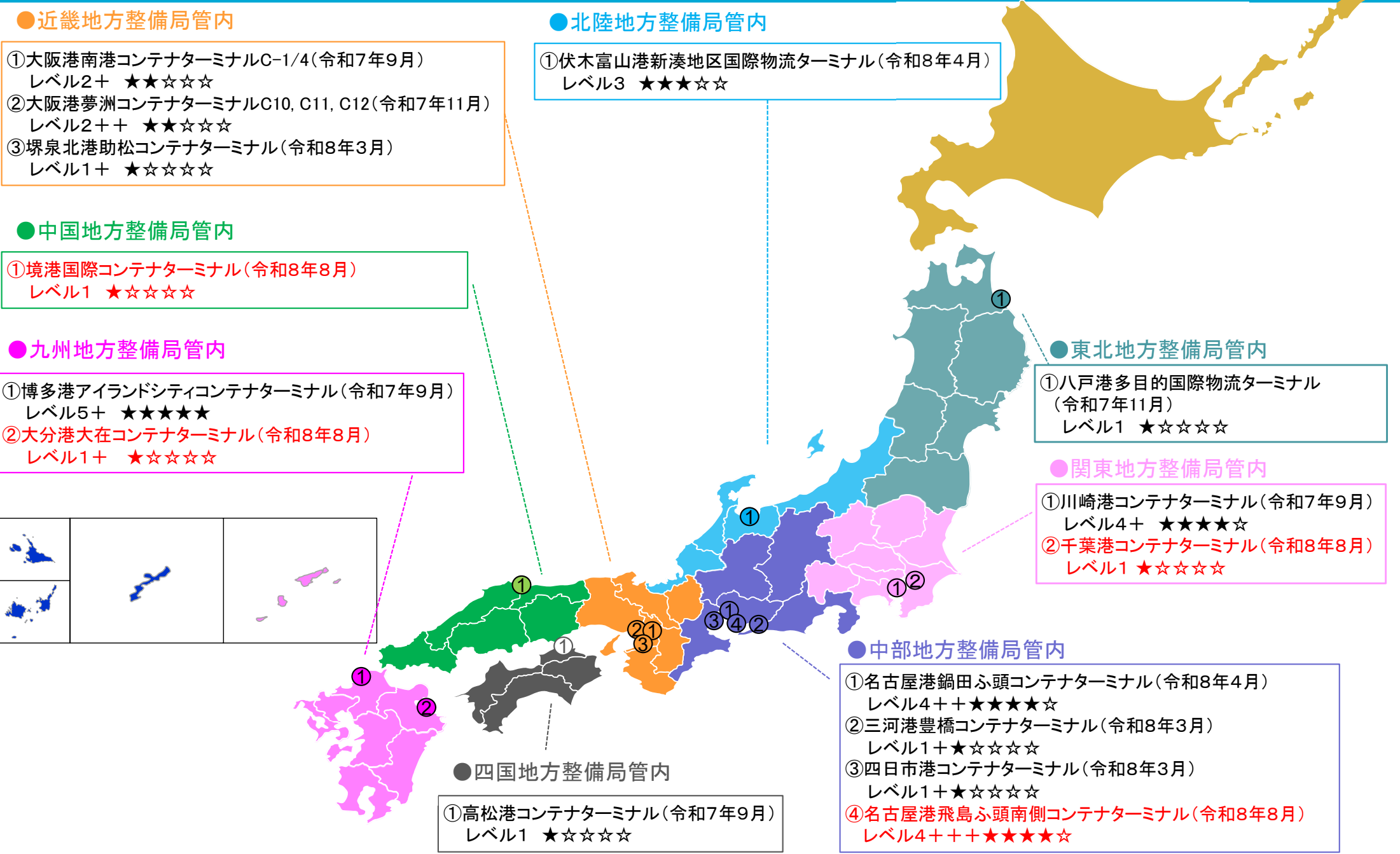
# CNP認証の評価基準

- 評価の対象は、①貨物取扱に関する取組、②船舶・車両の脱炭素化、③その他の取組
- レベル1～5の5段階で認証、各レベルで設定している「要求事項」を全てを満たすことが必要
- 「推奨事項」を満たしている場合、その項目数に応じて「+」を付加

## CNP認証(コンテナターミナル)評価基準

| 大分類        | 主な取組                   | 要求事項(レベル1～5) |     |     |     |      | 推奨事項(+)                                                                                                              |
|------------|------------------------|--------------|-----|-----|-----|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|            |                        | 1            | 2   | 3   | 4   | 5    |                                                                                                                      |
| 貨物取扱に関する取組 | 脱炭素化に向けた計画を作成          | ○            | ○   | ○   | ○   | ○    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・構内トラクター電動化など</li> <li>・リーファー施設、管理棟の省電力化など</li> </ul>                         |
|            | 低・脱炭素型荷役機械の導入          | -            | 10% | 50% | 80% | 100% |                                                                                                                      |
|            | LED照明などの導入             | -            | 10% | 50% | 80% | 100% |                                                                                                                      |
| 船舶・車両の脱炭素化 | 環境に配慮した船舶への入港インセンティブ付与 | -            | -   | -   | ○   | ○    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・船舶への陸上電力の供給</li> <li>・次世代船舶燃料の供給</li> <li>・大型商用EV・FCV等に対するインセンティブ</li> </ul> |
|            | ゲート予約システムの導入           | -            | -   | -   | ○   | ○    |                                                                                                                      |
| その他        | 上記以外の低・脱炭素化の取組         | -            | -   | -   | -   | -    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・低・脱炭素化された電力・燃料の利用</li> <li>・環境配慮タグボートの導入</li> </ul>                          |

# CNP認証(コンテナターミナル)認証済ターミナル





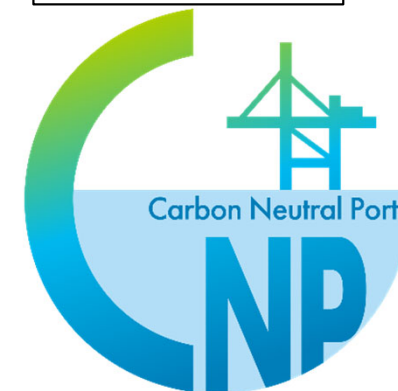
# 名古屋港 飛島ふ頭南側コンテナターミナル

参考資料 2

| 脱炭素化の取組主体                    | 主な取組内容                                                                                                  |
|------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 飛島コンテナ埠頭株式会社                 | インバータ制御方式のガントリークレーンの導入<br>遠隔自働RTG及びAGVによるヤード荷役<br>ヤード照明のLED化<br>昼休みゲートオープン及び搬出予約の導入<br>管理棟照明のLED化及び屋上緑化 |
| 名古屋四日市国際港湾株式会社<br>名古屋港埠頭株式会社 | ヤード照明のLED化                                                                                              |
| 名古屋港管理組合                     | 名古屋港港湾脱炭素化推進計画の作成<br>環境性能に優れた船舶へのインセンティブ制度の提供                                                           |

## [ターミナル概要]

名古屋港飛島ふ頭南側コンテナターミナルは、大型コンテナ船に対応できる水深16mの耐震強化岸壁2バース、22列対応の免振装置付ガントリークレーン6基を備えた高規格コンテナターミナルです。遠隔自働RTG、AGV(無人搬送台車)を導入した日本初の自動化ターミナルで、ITを活用してこれらの機器の効率的な連携を図り、さらなる荷役効率の向上に取り組んでいます。これからもお客様に選ばれ続けるサステナブルなコンテナターミナルとして、深化と進化を続けていきます。



CNP Certification

認証レベル  
Level 4 ++

(認証日 令和8年8月25日)

CO<sub>2</sub>排出量原単位

-

(算出に必要な一部情報が不足)



遠隔自働RTGとAGVの自働荷役  
(アイドリングストップ・夜間消灯自働荷役)



遠隔自働RTGとトレーラーの遠隔操作



名古屋港港湾脱炭素化推進協議会